

# 三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

## 三條別院に想う

私が初めて三條別院に寄せて頂いたのは、はつきりと覚えてはいませんが、今から四十年以上も前になるかと思えます。その当時、祖父が別院に勤務しておりましたので、幼い私は祖父に連れられ、とても大きな本堂に感動しながらお参りをした記憶があります。

その後二回目に寄せて頂いたのは、得度の考査を受ける時でした。父より学んだ阿弥陀經と正信偈を御輪番の前で、心臓をばくばくさせながら読んだことを覚えています。そんな私に御輪番は、「はい宜しいですよ、御本山には気をつけて行つて来て下さい」と和やかに言つて頂いて本當にうれしく思いました。

私は大学を卒業後自坊に入り法務を勤めては居ましたが、教区や組や別院の事業には、あまり積極的ではありませんでした。そんな時に、組内のある住職さんに推進員養成講座のスタッフになる様に誘つて頂いた事が大きな転機となり、徐々に組の事業に参加する事が多くなり、別院に足を運ぶ事も多くなりました。そして今、私はその推薦を頂いて、教区会及び院議会に出席させて頂きながら多くの学びと出会いに感謝

して居ります。私事で恐縮ですが二〇一一年宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌の年の五月に、中越地震からの復興で当寺の本堂が再建落慶しまして、その御縁もあつてか、教区御遠忌法要の整備部会の部員としても微力ながら活動させて頂いています。なかなか大きな予算を立てて計画に入つた訳ですので最初の頃は、ごたごたする事もありましたが、設計監理者を立てて何回も何回も会議を重ねて、ほぼ工事業者も決まつていよいよ施工に向けて進めていくところまで漕ぎ着けました。今後は完成に向けて、そしてその先の教区御遠忌法要の大成に向けて、微力ながら部員として、僧侶として活動を続けて行きたいと思えます。職員の皆さん本當に御苦労様ですが今後ともよろしく願ひします。そして別院が今まで以上に多くの人に愛される間法道場として繁栄することを念じ申し上げます。

(第十五組永閑寺 山宮 修靈 氏)

## ○次回の「三條別院に想う」は、

小原 秀一 氏

(第十六組 存念寺住職)

よりご執筆いただきます

## ■朝の人生講座・夏の御文拝読のご案内

本年も左記のとおり朝の人生講座・夏の御文を開催いたします。

清々しい朝のひと時を仏法に触れながら三條別院で過ごしてみませんか。

◎人生講座終了後、簡単な朝食をお配りいたします。

◇日時 八月二十二日(木)～二十五日(日)

午前六時 晨朝 夏の御文拝読

午前六時三十分 人生講座

◇場所 三條別院本堂

◇講師

二十二日 多田 修氏 (第二十組 照覺寺)

二十三日 関崎 智弥氏 (第十八組 重蓮寺)

二十四日 齊藤 研氏 (第十五組 正樂寺)

二十五日 中島 義紘氏 (真宗学院第 期卒業生)

詳細は案内チラシをご参照ください。



## ■教如上人四〇〇回忌法要(秋彼岸会)のご案内

本年は戦乱の世に生きた東本願寺創立者である教如上人の四〇〇回忌にあたります。当別院では、秋彼岸会期間中に一昼夜法要を厳修し、あらためて東本願寺創立以来の歴史を学び、これから

の歩むべき道を考えて参りたく存じます。

◇秋彼岸会日時 九月二十四日(火)

◇二十六日(木)

◇教如上人四百回忌法要

二十五日

午後一時三十分より 逮夜法要

法話講師 上場顕雄氏(教学研究所属託研究員)

講題「教如上人と信長・秀吉・家康

―東西分派―

二十六日

午前六時より 晨朝法要(朝の人生講座)

午前十時より 日中法要

DVD『教如上人物語

―東本願寺創立の上人―』上映

◇法要出仕 二十五日逮夜法要、二十六日日中法

要にご参勤願います。詳細は後日発送の案内

をご参照ください。

※①九月二十日～二十八日まで「本寺小路あかり

物語」として本堂のライトアップが行われます。

※②秋彼岸告知イベントとして新潟フオーキジ

ヤンポリーが九月

二十三日午後二時

より行われます(入

場無料)

※③秋彼岸会・人生

講座の詳細は案内

チラシ・聞法会の御

案内をご覧ください。



【第12代教如上人(1614年10月5日帰寂)】

■報恩講音楽法要における女性僧侶の出仕について

当別院では、どなたでも法

要に出仕しやすいような環境

づくりに勤めており、二年前

の報恩講より、女性僧侶に音

楽法要の助音方を依頼してお

ります。本年も昨年同様、出

仕をお願いしたいと存じます。

◇日時

法要 十一月五日(火)

午前十一時より 三条別院本堂にて

習礼 九月二十七日(金)、十月四日(金)、

十月十一日(金)、十月十七日(木)

十月二十一日(月)、十月二十四日(木)

いずれも午後三時より旧御堂にて

◇講師

多田 誓師(第十組専徳寺)

詳細は別送の案内をご確認ください。

■御命日(二十八日)の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八

日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と

法話、その後、座談会の場を開いております。

どなたでもお参りいただけます。皆様のご参

詣をお待ち申し上げます。

なお、前日(二十七日)はお逮夜法要を、午

後一時三十分よりお勤めしております。



【昨年の習礼の様子】

【八月二十八日(水)】

午前十時 お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讃 淘五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

村山 まみ氏(眞空学院第一期卒業生)

◇今後の講師一覧

九月 窪 智至氏(第二十組常明寺)

十月 長尾 豊隆氏(第十組淨覺寺)

十一月 關根 大丘氏(第二十組松韻寺)

十二月 光井 栄史氏(第十六組願善寺)

■定例法話会のご案内

毎月十三日の前門首のご命日(両度の命日)に

行っている定例法話会ですが、八月は休会となり

ます。九月からは左記の通り、開催となります

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

午後一時三十分より(二時間程度)

◇場所 三条別院 旧御堂

◇講師

八月 休会

九月～十二月

山代 英世氏(第二十一組 淨泉寺)

## ■真宗本廟御正忌団体参拝について

三条別院では、本年も本山、東本願寺御正忌報恩講の団体参拝を行います。

◇期日 十一月二十七日(水)～二十九日(金)

◇参加費 五〇、〇〇〇円

詳細は案内チラシをご確認ください。

## ■別院書道教室のご案内

昨年の十月より、当別院を会場に書道教室を開催しております。受講生を追加募集いたしますので、ご希望の方は是非ご連絡ください。

◇開催日 毎月二回(第二、第四水曜日)

◇時間 午後六時三十分～八時

◇募集人数 十名

◇講師 木原 光威氏(新潟県書道協会理事)

◇持ち物 筆(大・小)、硯、下敷、  
文鎮、墨液、半紙、新聞紙

◇月謝 二五〇〇円(テキスト代含む)

## ■別院声明教室内容変更のお知らせ

先月ご案内いたしました今期の声明教室ですが、教区声明講習会部門に依頼していた講師・日程が変更となりましたので、ご案内申し上げます。詳細は同封の案内チラシをご参照ください。

## ■同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、宿泊当日に同朋会館一階の事務所に「ごいます宿泊者帳」に記載

してください。その後、シートクリーニング代五〇〇円とシートを交換させていただきます。

なお、宿泊される方は、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

## ■別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によつて護持されてきた三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇う、そのような奉仕研修会を開いてみませんか。

ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となればと考えております。

○日程及び内容について、ご要望等ございましたらご相談承ります。

○奉仕研修会を参加いただく方(団体)の、冥加金は左記のとおりです。

### ◎冥加金

・日帰り 一、五〇〇円

・一泊二日 二、五〇〇円

### ◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

・朝食代 五〇〇円

・昼食代 一、〇〇〇円程度

・夕食代 一、三〇〇円程度

## ■三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各門徒の

お宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどしか行われていません。ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院巡回がより多くの方々のお念仏をいただくご縁となりますことを、願っております。

※巡回の曜日・時間等はできるかぎりご都合に合わせてまいりますので、お気軽にご相談ください。

## ■三条別院有志の会について

三条別院では「三条別院有志の会」という集いをもち、法話や座談会(茶話会)など、近隣の方をはじめ、有縁の方にお集りいただいております。

現在十余名の有志の皆様によって活動しておりますが、「三条別院有志の会」では、より多くの方にご参加賜りたく、新たな参加者を募っております。お気軽にどなた様でもご来院くださいますよう、ご案内申し上げます。お問い合わせは三条別院まで。

## ◇◇編集後記◇◇

全国的には梅雨が明けたが、新潟ではまだまだ雨の日が続く、嘆く自分がある。しかし梅雨の入り始めには「今年は空梅雨だ」と嘆いた自分がいた。何と自分勝手なのだろう。最近、ある方が「止まない雨はない」と言っていた。とりあえずまだ咲いている紫陽花を眺めながら、私の自分勝手に鑑みよう。